

# 地域事業者の「脱炭素経営」を後押し！

大府市は、脱炭素経営やSDGsを進める/進めたい企業を応援&支援しています！  
あらゆる業界のサプライチェーン企業で「脱炭素経営」が必須となる時代が目前まで来ています。  
将来のこども達のために、明るく持続可能な社会をみんなで創っていく事業です。

## 事業の目的

- ① **脱炭素経営**についてみんなで考える！
- ② 自社のCO<sub>2</sub>排出量を**見える化**してみる！
- ③ 自社の**CO<sub>2</sub>削減目標**を掲げてみる！
- ④ **目標達成の道筋**を社内で検討してみる！



## 事業のプログラム内容

### 特別講演会 (オープンセミナー)

#### 達成目標 脱炭素経営に取り組む必要性を理解する。

脱炭素経営に踏む出すための**はじめの一歩**として、  
講師から**脱炭素の基本知識**をレクチャーしました！

【全体講師】畑中 直樹 氏  
大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)  
(株)地域計画建築研究所(アルバック) 役員(新領域担当)



※特別講演会への参加企業数: **19** 社(21人) ※主な参加企業の業種は「製造業」でした。

### 基本講義 & グループワーク ~part1~

#### 達成目標 脱炭素経営に取り組むための基礎知識を知る。

自社のCO<sub>2</sub>排出量の換算方法(**見える化**)を学び、  
参加者同士で排出状況等の**課題を意見交換**しました！

脱炭素経営の「トッランナー」となるべく、4社の企業が参加！



### 個別相談会 (オンライン開催)

#### 達成目標 脱炭素経営を推進するにあたっての課題を解消する。

脱炭素経営方針や削減目標についての、  
**悩みや課題を解消**する会を開催しました！

「誰一人取り残されないための相談会」を実施！

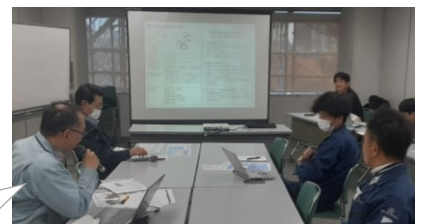


### 基本講義 & グループワーク ~part2~

#### 達成目標 独自の脱炭素経営アクションプランを作成する。

特別講演会や基本講義 & グループワークで  
学んだことをアクションプランにまとめて、  
独自の脱炭素経営プランを作成しました！

最後に、「脱炭素経営プランの発表会」を開催！  
ここからが、脱炭素経営のスタート！！



# 事業に参加した事業者の声

## 【特別講演会】

- 社会的な状況や脱炭素の実例を学ぶことができ、とても良い機会となった。
- 新しい具体的な事例を沢山紹介され、実りある時間を過ごすことができた。

## 【個別相談会(オンライン開催)】

- 相談しながら進めることができ、分からないまま進むことがなかった。
- 弊社の職種をよく理解され、問題点や改善点を親身に相談させてもらった。

## 【基本講義&グループワーク~part1~】

- 他社の生の情報や脱炭素に関する専門家の意見も聞く事ができて良かった。
- 自社よりも脱炭素を進んで行う他社の課題を聞くことができて良かった。

## 【基本講義&グループワーク~part2~】

- 自社で取り組めていないこと、そして取り組んでいくべきことの整理ができた。
- 脱炭素に対するトップ(経営者)の思いを再確認する良い機会となった。

## 【事業後アンケート(事業全体を通じて)】

1. 参加者全員が本事業について「満足」と回答しています！

- 社会の動きや取り組むべきことを明確にするための良い機会だと思いました。

2. 参加者全員が本事業への参加を「他者に勧めたい」と回答しています！

- 脱炭素経営の推進は大きい投資が必要になるため、経営者への理解も必要になる。
- 工場の推進者が共通の知識や認識を持つことで脱炭素経営の促進へと繋がると思う。

# 事業に参加するメリット

## ① 脱炭素経営の気づきを得ることができる！

- 脱炭素経営を進めるにあたっては、脱炭素化の社会的な動きや基礎知識を体系的に理解することが必要不可欠です。
- 脱炭素経営に必要な基本から応用までの知識を丁寧に解説することで、脱炭素経営への気づきをサポートします。

## ② 取引先や新規顧客へ取組内容をPR発信できる！

- 脱炭素化の推進を図っている取引先に対して、自社の脱炭素経営の方針や目標、計画を示すことができますようにになります。
- 新規顧客開拓時の営業でも、脱炭素経営を推進していることを大きなアピールポイントとして示すことができます。

## ③ 自社の人材育成や他社交流/情報交換ができる！

- 本事業には、若手社員から役員や経営者まで様々な方が参加されるため、従業員の人材育成や、役員・経営者同士の脱炭素経営に係る情報交換の場としても活用していただけます。

目標年度にむけた脱炭素経営のロードマップ検討シート

会社名	本事業に参加された大府市内の企業者様		
◆脱炭素経営方針	2030年の温室効果ガスの削減目標を2013年比で50%削減する		
◆自社のCO2排出量の現状	◆削減目標	2030年度までに 50%削減	
* 経費、内訳(燃料費、固定費)、排出実態の把握、これまででの削減率把握		省エネ 60% × 再エネ 80%	
※ 削減率(削減率) = (削減率) × (削減率)		その他削減単位などもあれば...	
【注】 - 空気のファン制御 - 事業開始前時点 - 受電機舎を既存設備の更新			

目標年度にむけた脱炭素経営のロードマップ検討シート

◆CO2削減を通じた脱炭素経営方針	取組	2024	2025	2030	効果(大・中・小)
省エネ	-CO2排出量の可視化 -空調機、電動機の見直し -空調機効率改善(設置、電気工事機材) -ヒーター・ヒートポンプ	電気使用量の可視化 -LED照明導入 -省エネ機器の導入 -省エネ機器の導入 -電力調度 -電力調度	電気使用量の可視化 -LED照明導入 -省エネ機器の導入 -省エネ機器の導入 -電力調度 -電力調度	電気使用量の可視化 -LED照明導入 -省エネ機器の導入 -省エネ機器の導入 -電力調度 -電力調度	ヒートポンプ削減 -電気設備削減
再エネ	太陽光発電				
その他	電気購入先変更				
◆脱炭素経営に向けた体制と情報発信 本社の意向確認及び名古屋事業所内の体制づくり					

※参加企業が作成した脱炭素経営計画の「アクションプランシート」の例です。